

1. 感染症を疑う場合の検体採取・保存における一般的注意事項

| | |
|-------------|---|
| 採取時期 | ・ 発病初期の抗菌薬投与前に採取する |
| | ・ 抗菌薬投与中の場合は可能な限り24時間以上中止して採取する |
| | ・ 抗菌薬投与を中止できない場合には次回投与の直前に採取する |
| 採取時の注意事項 | ・ 常在菌の混入を避ける |
| | ・ 消毒薬の混入を避ける |
| | ・ 検査に必要な適切な量を採取する |
| | ・ 適切な容器に採取する |
| | ・ 検体採取者への二次感染や環境の汚染防止に配慮する |
| 搬送・保存時の注意事項 | ・ 検体は採取後速やかに検査室に提出する |
| | ・ 検体の乾燥を防ぐ |
| | ・ 搬送時の環境汚染や二次感染を防ぐ（ジップ付きポリ袋の使用など） |
| | ・ 直ちに提出できない場合には適切な保存条件で保存する（原則 4℃，一部例外あり） |
| 患者自身が採取する場合 | ・ 良質な検体を採取するための適切な採取・保存方法をわかりやすく説明する |
| | ・ 提出された検体は主治医が必ず観察し，検体の良否を判定する |